

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援おひさまはうすきっず		
○保護者評価実施期間	R7年3月3日		～ R7年3月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 7人	(回答者数) 6人	
○従業者評価実施期間	R7年2月1日		～ R7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 24人	(回答者数) 24人	
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○一人ひとりに寄り添った適切な支援の提供 →個々のレベルに合わせて支援するためマンツーマンに近い職員配置で行うようにしている。	多種多様な活動を通じて、他児との関係を大切に、その子らしい未来が広がる支援を心がけている。	これからも保護者の希望や子どもの気持ちをしっかりと受け止めるとともに、個々の子どもに対してのアセスメントを適切に行っていきたい。
2	○生活空間の工夫 →季節感が感じられるように、事業所内の飾りや壁面に力を入れている。	事業所内においても、季節や行事を感じられるように、職員や子どもたちの手作りの作品や飾り物を飾ることで、季節を感じ楽しめるようにしている。	子どもや職員間でアイデアを出し合い、より季節感のある楽しい空間を目指していきたい。
3	○多種多様な活動内容(プログラム)の充実 →創作活動や運動プログラム、音楽プログラム等、様々な活動を実施している。	職員チームの立案による様々なプログラムを工夫して、活動プログラムが固定化しているようにしている。	これからも多種多様な活動を提供し様々な体験をすることで、充実した時間を過ごせるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○保護者同士の交流機会の企画提供不足 →コロナ禍以降、日程調整が上手くいかず、保護者会等、実施できずにいる。	日々の本人支援に追われ、なかなか十分な時間が取れず、日程調整が難しい状態である。	・保護者がたくさん集まれる時間に合わせるには、曜日・時間を工夫して複数回実施しなければならない。 ・研修会や保護者交流会の企画立案においては、保護者のニーズ、意見を大切にしていきたい。
2	○地域住民や保育所などの他園や地域の子どものと交流する機会 →地域や園との目的・予定が合わないで実施できていない。	「地域支援・地域連携・他園等への交流」に対する情報収集不足・取り組み不足である。	地域の活動等の情報収集を行うと共に、保育所や他園への積極的な働きかけを実施していきたい。
3	○保護者の方への非常時等の対応に対する周知、発信不足 →全員そろっての訓練等実施できていないので周知、発信不足。	防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、契約時のみの説明に留まり周知不足である。	防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、SNS等を通じて保護者への発信機会を増やしていきたい。